



●教育長あいさつ.....	1
●頑張る学校応援プラン.....	2
●令和3年度県教育委員会所管予算.....	3
●県教育委員会名簿・県教育庁新陣容.....	3
●県教育庁の組織及び電話番号一覧.....	4

発行 令和3年4月1日(木)
福島県教育委員会
No.168

子どもが安心して学べる

環境づくりを目指して

福島県教育委員会教育長 鈴木淳一



はじめに、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、日々子どもたちの学習支援や心身のケア等のために様々な対応を頂いていることに、心から感謝申し上げます。教育現場においては、引き続き感染症対策の徹底や誹謗中傷の防止など、新型コロナウイルス感染症対応を踏まえた子どもたちの学びの保障への取組をお願いいたします。

さて、東日本大震災及び原子力発電所事故から十年が過ぎ、大きな節目を迎えました。震災の経験や記憶がない子どもたちが増えていく中、福島に生まれ育つ子どもたちには、原発事故の事実や福島の現状を自らの言葉で説明できるよう育成していく必要があります。

また、現在の新型コロナウイルス感染症の影響に加え、近い将来、人工知能の進化や科学技術の進歩により新たな時代が到来し、仕事の在り方や生活の仕方まで社会が大きく変わろうとしています。未来を担う子どもたちには、これまで必要とされてきた「知識・技能」はもとより、自ら課題を見つけ、対話と協働により解決していくための「思考力・判断力・表現力」、そして、社会のために尽くそうとする心、困難に負けずに前向きに頑張れる心などが求められています。

こうした中、今年度策定する次期総合教育計画を見据え、一部改定を行った「頑張る学校応援プラン」に掲げた5つの主要施策をしっかりと進めてまいります。

主要施策1「学力向上に責任を果たす」では、経年での学力の伸びを今回初めて把握できる「ふくしま学力調査」や、リーディングスキルテストを活用しながら、個に応じた学力の向上に取り組んでまいります。また、ICT教育では、県立学校及び市町村立学校にモデル校を指定し、実践事例の共有を進めるとともに、高校段階における個人所有による一人一台端末の導入に向けた環境整備を進めるなど、「学びの変革」を具体化してまいります。また、公立中高全ての英語担当教員の外部英語試験受検や、オンライン等による小中高教員研修の実施など英語教育の充実に取り組んでまいります。

主要施策2「教員の指導力、学校のチーム力の最大化」では、部活動指導員やスクール・サポーター・スタッフを継続して配置するとともに、新たに制定した県立学校教員の業務時間の上限に関する規則や「教職員多忙化解消アクションプランⅡ」に基づく取組を推進し、教職員が子どもと向き合う時間や自己研鑽する時間の確保に努めてまいります。

主要施策3「地域と共にある学校」では、会津地区の養高校と喜多方高校の二校に加え、県南地区の白河旭高校にも「地域コーディネーター」を配置し、産学官連携による地域人材活用の仕組みを構築するなど、地域課題探究活動の充実を図ってまいります。また、コミュニティ・スクールを、県立高校においてもこれまでの三校に加え、川俣高校、猪苗代高校及び只見高校に新たに導入するなど、福島県地域学校活性化推進構想に掲げる地域に根ざした取組をしっかりと推進してまいります。

主要施策4「ふくしまの未来に向けた創造的復興教育」では、福島イノベーション・コースト構想を担う人材育成において、高校間に加え、企業や大学等との連携を深め、構想を牽引するトップリーダーや即戦力となる専門人材の育成を更に進めてまいります。また、風評払拭等に寄与する社会体験活動への支援や農業高校におけるGAP取得、放射線・防災教育等に取り組むとともに、昨年に開館した東日本大震災・原子力災害伝承館も活用しながら、震災の記憶と教訓の継承に取り組んでまいります。

主要施策5「学びのセーフティネットの構築」では、スクールカウンセラーを継続配置するとともに、不登校への対応として専任の教員を配置したスペシャルサポートルームの充実を図り、子どもたちが安心して学ぶことができる教育環境づくりを進めてまいります。また、特別支援教育の充実については、富岡支援学校の令和六年度中の再開を始めとして「第二次全体整備計画」に基づく新たな特別支援学校の整備を着実に進めてまいります。

県立高等学校改革については、この四月に開校する喜多方高校と小名浜海星高校の二つの統合校において、地域課題について生徒と住民が意見交換を通して解決につなげる取組を行うなど、地元密着型の学習活動を新たに実施してまいります。

引き続き、国や市町村、関係機関等とも手を携え、子どもたちが安心して心を動かしながら学ぶことができる教育環境づくりを進めてまいりますので、教職員の皆さんにおかれましては、子どもたちの好奇心や向上心に働きかけるなど、創意工夫を重ねながら遺憾なく力を発揮されますようお願いいたします。